

第132回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部部会会議録	日時	令和4年7月27日（水） 9：10～9：22	場所	Web
出席者	西岡市長、小澤副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、藤本庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、大津学校教育部長、梅原生涯学習部長、柿崎環境部長、堤企画政策課長、宮奈地域安全課長、石原健康課長、佐々井新型コロナウイルス感染症対策担当課長、廣田広報秘書課長、根本地域福祉課長、宮腰地域安全係長			
付議事項	1 新型コロナウイルス感染症への対応について 2 各部連絡事項			
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン接種事業について ・東京都において実施するオミクロン株の特徴を踏まえた濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施方法について ・「うちさぼ東京」の飲食料品の配食について ・イベント開催時等の感染防止対策の徹底について（依頼） ・夏に向けた感染防止対策の徹底について（依頼） ・「夏に向けた感染防止対策の徹底」ポスター ・ワクチン接種促進ポスター ・事務連絡（都道府県）夏の検査呼びかけ ・第31回 自殺防止！東京キャンペーン 			
<p>（進行：福祉保健部長）</p> <p>（市長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症について、オミクロン株の進化系が急速な勢いで広がっている。 ・都の支援物資も申込の条件が厳しくなっており、市への問い合わせが増えると予想される。 ・市では、生活支援物資の配送、パルスオキシメーターの貸し出し、買い物代行、そして医療機関への搬送車の増台など、自宅療養者支援をしっかりと行っていく。 ・自宅療養者が急激に増えていることで、自宅療養者支援に関わる職員の体制が非常に懸念される。庁内で応援を呼びかけるため協力をお願いしたい。 ・新型コロナウイルスワクチンについては、4回目接種の対象が医療従事者・高齢者施設の従事者に拡大された。 ・今般の感染拡大により、感染状況により4割、5割、6割と職員が休むことを想定する必要がある。BCP含めた業務の遂行について、今後相談していただきたい。 <p>1 新型コロナウイルス感染症への対応について （新型コロナウイルス感染症対策担当課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4回目接種の対象者拡大について。医療従事者については本市でも把握しているため、昨日対象者3,400名に接種券を発送した。高齢者施設等の従事者の接種券はコールセンター 				

で発行する。

- ・本案件について、対象者への情報提供を徹底するため、介護福祉課・自立生活支援課に協力をお願いしたい。

(健康課長)

- ・濃厚接触者の自宅待機期間の変更について。詳細は別添資料のとおり。
- ・感染者が爆発的に増えたことで「うちサポ東京」も対象者を絞っている。
- ・お盆に帰省する人々への検査等の呼びかけについては別添資料のとおり。
- ・9月の自殺防止東京キャンペーンについて。本市も都と連携して駅頭で啓発活動を行う。

(総務部長)

- ・濃厚接触者の自宅待機の短縮について、市職員には7月25日付けで基準を変更し遡及適用はしない。
- ・本市の消防署長によると、現在救急車の要請が急増しており稼働率は99%である。
- ・職員のコロナ感染者数は現在39名。うち34名は三連休明けの4日間に判明した。10代、20代が家族にいる職員の感染者が多く、若い世代からの感染例が多い。感染予防のため、体調に異変があった場合は無理に出勤しないよう、引き続き呼びかける。

(子ども家庭部長)

- ・保健所からの通知により、保育園での濃厚接触者の特定はしないこととなったが、クラスター発生の場合は休園とするなど、臨機応変に対応していきたい。

(以上)